

大津企業景況調査報告書

(第62回)

平成25年 7月～ 9月期 実績

平成25年10月～12月期 見通し

大津商工会議所

大津企業景況調査について

(平成25年7月～9月期)

1. 調査方法

大津商工会議所会員企業100社にFAX方式による調査

2. 調査企業

産業別	調査対象企業数	有効回答企業数	回収率
建設業	20社	13社	65.0%
製造業	10社	8社	80.0%
卸売業	10社	8社	80.0%
小売業	30社	17社	56.6%
サービス業	30社	23社	76.6%
合計	100社	69社	69.0%

3. 調査期間

調査対象期間は平成25年7月～9月とし、調査時点は平成25年9月1日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指数としてDI指数を採用した。DI指数とはDiffusion Index（景気動向指数）の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」のDI指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」のDI指数は、3ヵ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」のDI指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

景況感は緩やかに回復しつつある

平成 25 年 7 月～9 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

全体

景況は、全体の業況判断DI（前年同期比）が、前四半期の▲21 から今四半期は±0 と大幅に改善して 7 年ぶりにマイナスから脱し緩やかに回復しつつある。業種別では、公共投資の拡大や消費増税を控えた駆け込み需要等により建設業が、円安による輸出の増加等から製造業が大幅に改善してプラスに転じ、サービス業、小売業も改善した。一方、物流コストの増加等から卸売業は逆行してマイナスに転じた。

先行きは、業況判断DIが▲3 と足踏み状態になると予想されている。これは、建設業では消費増税を控えた駆け込み需要が縮小すること、製造業、卸売業、小売業ではまだ駆け込み需要が見込まれる半面、円安の定着による輸入コストの増加が収益を圧迫し続けるとみていること等が原因とみられる。

□ 業況判断DI（前年同期比）は、緩やかに回復しつつある。

「前年同期比でみた業況判断DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、3年ぶりにマイナスから脱し緩やかに回復しつつある。業種別では、建設業、製造業がプラスに転じ、サービス業、小売業も改善した。一方、卸売業は逆行してマイナスに転じた。

□ 売上DI（前年同期比）は改善続く。すべての業種が改善。

「前年同期比でみた売上DI(全体)」(「増加」－「減少」)は、前四半期の▲15 から今四半期+7 と 3 期連続改善した。業種別にみると、製造業がマイナスながら改善し、他のすべての業種は改善し、プラス(増加)に転じた。

□ 採算DI（前年同期比）は改善。サービス業は大きく改善。

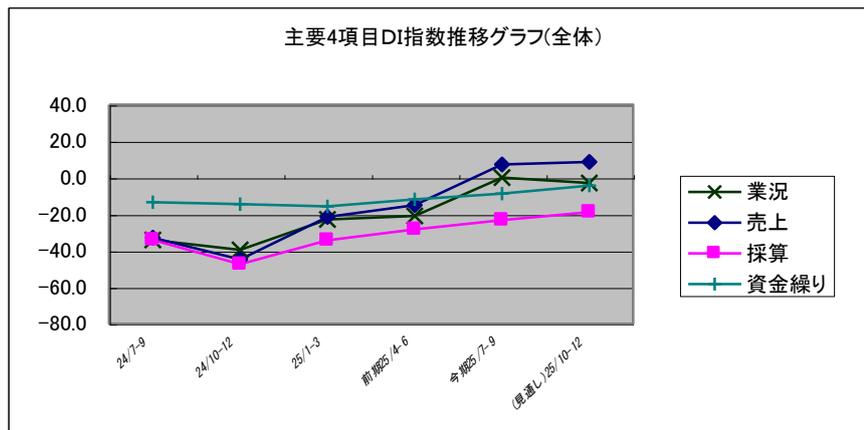
「前年同期比でみた採算(経常利益)DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期▲28 から今四半期▲23 と 3 期連続改善した。業種別にみると、サービス業が大きく改善し、卸売業は悪化した。

□ 資金繰りDI（3ヵ月前比）はやや改善。サービス業は改善。

「3ヵ月前比でみた資金繰りDI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期の▲12 から今四半期▲9 にやや改善した。業種別にみると、サービス業が改善し、卸売業は悪化した。

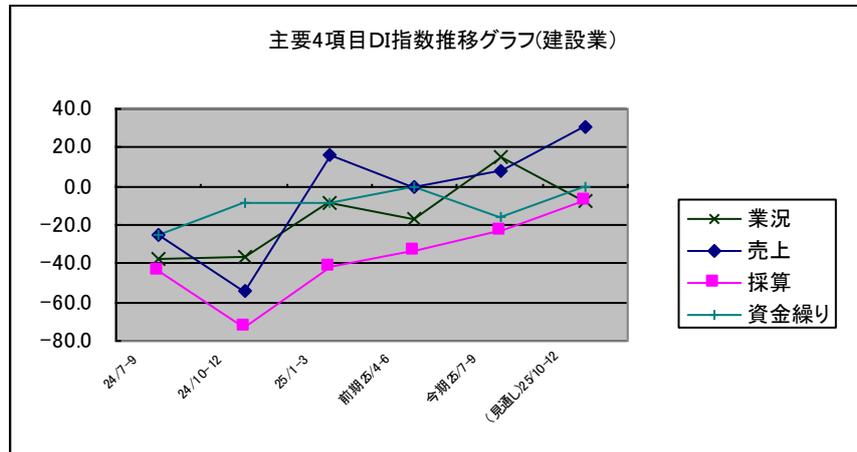
□ 従業員DI（前年同期比）は人員不足。ほぼすべての業種が不足に。

「前年同期比でみた従業員DI(全体)」(「不足」－「過剰」)は、前四半期の▲2 が今期+9 と人員不足に転じた。業種別にみると、ほぼすべての業種が人員不足になっている。



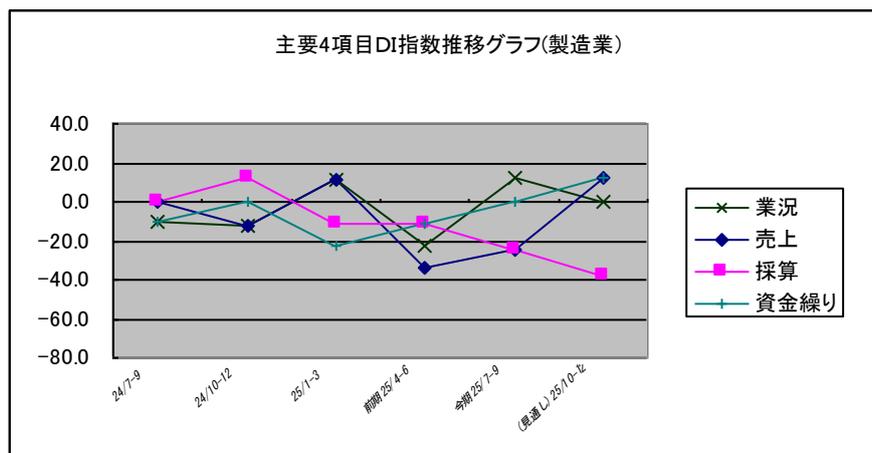
建設業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期▲17 から今四半期+15 と大幅に改善しプラスになった。個別指標をみると「売上」が前四半期の±0 から今四半期+8 に増加し、かつ「取引の問合せ」は前四半期の▲17 から今四半期±0 と改善し、「人員」は前四半期の▲8 から今四半期+15 と人員不足に転じた。公共投資の拡大や消費増税を控えた住宅の駆け込み需要の発生等によるものとみられる。



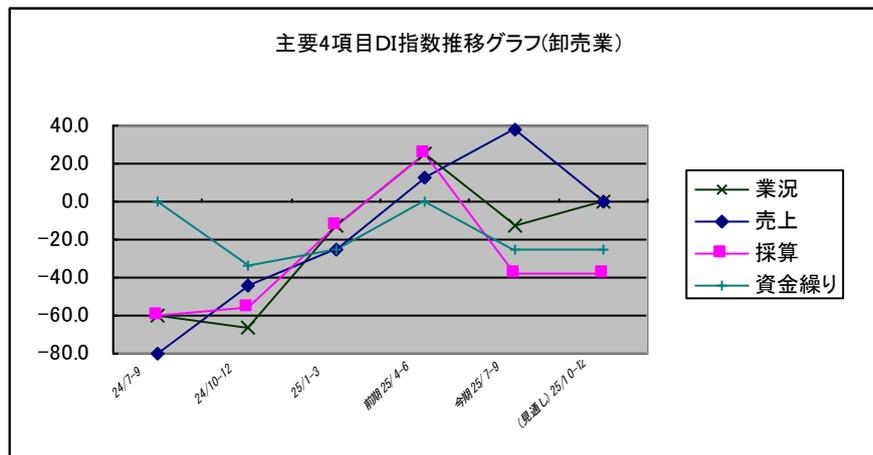
製造業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期▲22 から今四半期は+13 と大幅改善してプラスに転じた。「採算水準」において黒字企業は増加しており、「売上」が前四半期の▲33 から今四半期は▲25 と改善し、「取引の問い合わせ」も改善している。「従業員」は前四半期▲11 から今四半期は+13 と人員不足に転じた。円安による輸出の増加や消費増税を控えた駆け込み需要の影響があるものとみられる。



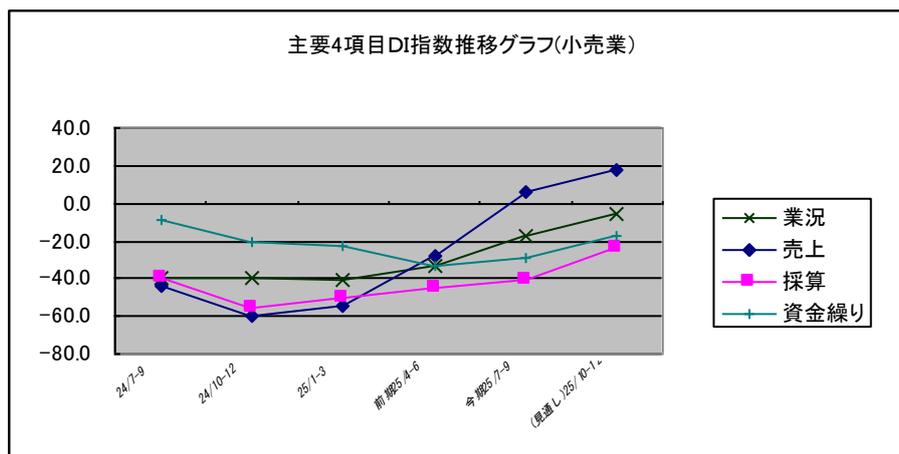
卸売業

DI 指数をみると、「業況」は、前四半期の+25 から今四半期は▲13 と他の業種と逆行してマイナスに転じた。「売上」は前四半期の+13 から今四半期+38 と大幅に改善したが、「採算」が前四半期の+25 から今四半期は▲38 に大幅に悪化し、「採算水準」は+50 から▲13 と赤字企業が増加した。物流コストの増加等によるものとみられる。



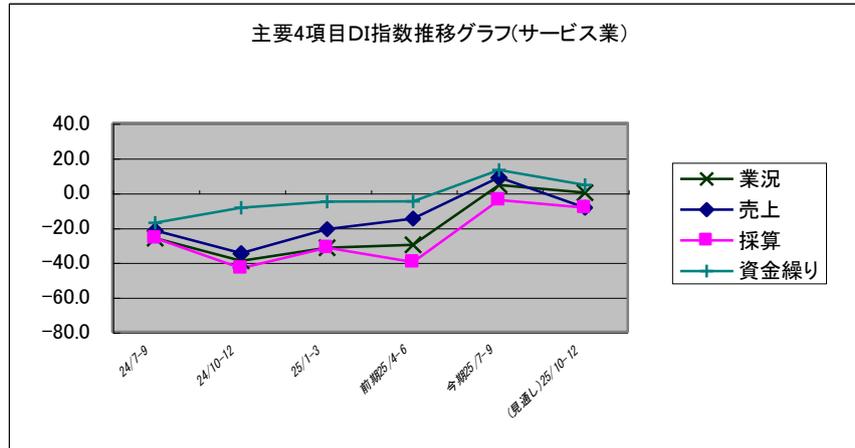
小売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲33 から今四半期は▲18 と改善したが、マイナスに止まっている。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲28 から今四半期+6 と増加し、「採算水準」は前四半期の▲33 から今四半期▲35 と低水準のままである。円安の定着による輸入コストの増加が収益を圧迫していること等のためとみられる。



サービス業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲30 から今四半期は+4 と大幅に改善しプラスに転じた。「売上」は前四半期の▲15 から今四半期+9 と改善し、「採算水準」は前四半期の▲35 から今四半期+13 と良化している。「従業員」は前四半期のから人員不足が続いている。株価が堅調なこと等が影響しているとみられる。



来四半期(3ヵ月後)のDIの見通しについては、回復が足踏み状態になると予想されている。全体の「業況」は、今四半期の±0 から来四半期には▲3 にやや悪化する見通し。個別指標でみると「売上」は引き続き増加し、「採算」、「採算水準」も良化する。「取引の問い合わせ」は横ばいの見通しとなっている。

来四半期の「業況」見通しを業種別にみると、建設業では消費増税を控えた駆け込み需要が縮小すること、製造業、卸売業、小売業ではまだ駆け込み需要が見込まれる半面、円安の定着による輸入コストの増加が収益を圧迫し続けるとみているようである。

3ヵ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は前四半期から2ポイント増加して今四半期は20%となった。業種別にみると、製造業、卸売業が最も高く38%、建設業が15%となった。投資企業の投資内容の割合は、「更新投資」が44%で、「生産力増加」投資は19%。投資方針は、「今後の景気に拘らず計画通り」とする企業が71%ある。まだ設備投資計画の水準は低く、生産力増加投資はさらに少ない。景気の緩やかな回復感はあるものの消費増税等を控え、企業経営者の慎重な姿勢が窺われる。

(MBA・中小企業診断士 田中清行)

(今の経済情勢に対する意見)

今の経済情勢に対する意見を寄せた企業は8社であった。

- ・消費税率を上げる影響で、需要の先食いが起こっている気がする。税率変更後の需要停滞が不安。(製造業)
- ・全体的な流れが、少し微減少しています。(製造業)
- ・物流関係に携わる中小零細企業は、電気料金とガソリン代の値上げが吸収できず苦しんでいます。特にガソリンのW課税は得心がいきません。このまま行きますと、倒産・廃業が続出するでしょう。(卸売業)
- ・円安による輸入食材の値上りと、水道光熱費、電気代等の値上り、人件費増加などで利益が圧迫されている。時間当たり利益を上げるために、更なる努力を続ける。「今」必要な努力、改善に努めます。(小売業)
- ・末端まで景気の回復感はとどいていない状況。ギフト主体の弊社には、まだ時間がかかる。(業況回復まで)(サービス業)
- ・以前に比較して、将来的には確実に景気は良くなるという印象が感じられる。ただし、このためには、消費税は段階的に年率0.5%、又は年1%、又は1.5%で調整してはどうか。すぐに3%は以前と同じ負担感により、景気はしぼんでしまうと推測する。(サービス業)
- ・消費税率のUPを前に、住宅のかけ込み購入者の動きに勢いが感じられない。(サービス業)
- ・原発可動などの電力問題(夏の自給率96%)が大きく気にかかる。太陽光パネル事業も手がけるが、単価の下落で商売にならない。(建設業)

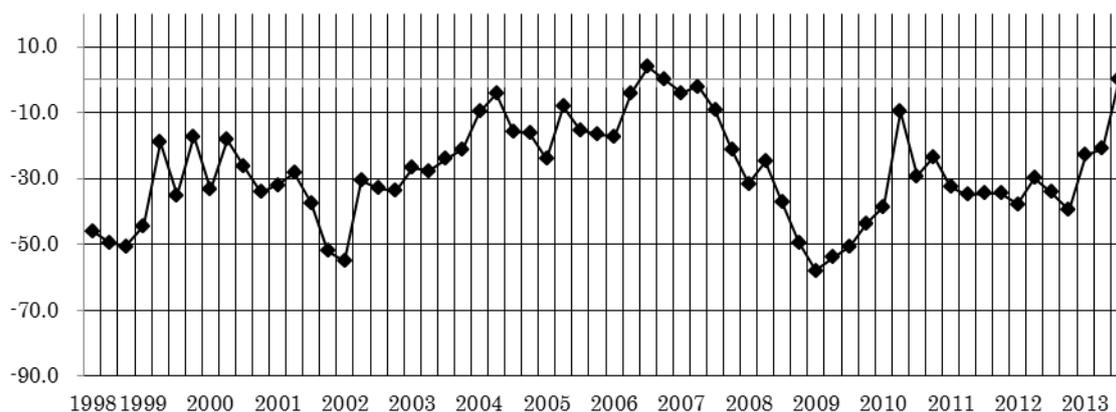
DI 指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し
全 体	0.0	▲2.9	7.2	8.7	▲23.2	▲18.8
建 設 業	15.4	▲7.7	7.7	30.8	▲23.1	▲7.7
製 造 業	12.5	0.0	▲25.0	12.5	▲25.0	▲37.5
卸 売 業	▲12.5	0.0	37.5	0.0	▲37.5	▲37.5
小 売 業	▲17.6	▲5.9	5.9	17.6	▲41.2	▲23.5
サービス業	4.3	0.0	8.7	▲8.7	▲4.3	▲8.7
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し	7-9 月期 動 向	10-12 月期 見 通 し
全 体	▲8.7	2.9	▲15.9	▲14.5	8.7	8.7
建 設 業	▲23.1	▲7.7	0.0	7.7	15.4	23.1
製 造 業	12.5	37.5	0.0	▲12.5	12.5	0.0
卸 売 業	▲12.5	12.5	▲12.5	▲12.5	0.0	0.0
小 売 業	▲35.3	▲23.5	▲29.4	▲29.4	11.8	5.9
サービス業	13.0	13.0	▲21.7	▲17.4	4.3	8.7
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	7-9月期 動向	10-12月期 見通し	7-9月期 動向	10-12月期 見通し	7-9月期 動向	10-12月期 見通し
全体	▲8.7	▲4.3	▲4.3	0.0	▲2.9	▲1.4
建設業	▲15.4	0.0	▲7.7	▲7.7	0.0	▲7.7
製造業	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売業	▲25.0	▲25.0	0.0	12.5	0.0	12.5
小売業	▲29.4	▲17.6	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	13.0	4.3	▲8.7	0.0	▲8.7	▲4.3
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

本調査開始（1998年 第二四半期）以降 業況DI指数推移グラフ（全体）



※縦目盛り軸は、全業種の業況DI指数を表しています。横目盛り軸は、調査年を西暦で表しています。

大津商工会議所

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜2番1号

コラボしが21 9階

TEL : 077-511-1501

FAX : 077-526-0795

URL <http://www.otsucci.or.jp/>